

平成28年第1回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	1	質問者	楠 順 一	発言 時間	答弁を求 める者
質 問 事 項			質 問 の 要 旨		
1		町内各所の屋外広告塔について	<p>町内の国道275号沿線等に、数基の広告塔が設置されているが、この管理について伺いたい。</p> <p>(1) 町が所有・管理しているもの、民間が所有・管理しているものがあるが、その管理状態についてどう把握し、管理・指導しているか。</p> <p>(2) 町が管理しているものについて、設置当初から長期間が経過し、看板の表示内容や存在意義が時代の変化に適さないものもあると感じるが、近年の農村景観保全の観点からも見直しする必要はないか。</p>	30分	町 長
2		皆楽公園エリアの旧「むつみ屋」の施設について	<p>皆楽公園エリアの再整備については、月形町創生戦略にも盛り込まれているが、破産した旧「むつみ屋」の施設が放置されており、安全管理的にも景観的にも問題があるだけでなく、同エリアの再整備においても避けて通れない課題であると考えている。</p> <p>(1) 同施設の現在の法的な帰属を含めた管理状況等について町が把握している内容について伺いたい。</p> <p>(2) 同施設の当面の適切な管理や将来的な処置について、町として取りうる方策について検討が必要と考えるがどうか。</p>	40分	町 長

平成28年第1回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	2	質問者	大 釜 登	発言 時間	答弁を求 める者
質 問 事 項		質 問 の 要 旨			
1	地域おこし協力隊について	<p>地域おこし協力隊について次の2点について考えを伺いたい。</p> <p>(1) 採用方法等について どのような人物を対象とし、地域的にはどこからと考えているか。</p> <p>(2) 採用期間等について 採用は何年とするか。また、終了後の対応はどう考えているか。</p>		30分	町 長

平成28年第1回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	3	質問者	我 妻 耕	発言 時間	答弁を求 める者
質 問 事 項		質 問 の 要 旨			
1	移住定住化促進のための「住環境の整備」について	<p>人口流入の一助でもある住環境の整備。今回は宅地分譲と空き家対策について、その現状と今後の展開を質問する。特に若者・子育て世代に向けての対策といった世代をしぼった取り組みなど、月形町ならではの制度の可能性は考えているでしょうか。</p>		30分	町 長
2	月形高校の今後について	<p>今回の高校入試で、1次出願者25名の月形高校。40名を切ったことによる学級減も含め、今後予想される影響と志願者減の原因は何か。 そして対策はどのように考えているでしょうか。</p>		40分	教育長 町 長

平成28年第1回月形町議会定例会一般質問通告書

順番	4	質問者	宮下 裕美子	発言 時間	答弁を求 める者
質問事項		質問の要旨			
1	適正な公共調達について	1) 一般廃棄物収集処理および衛生センター維持管理業務に関連する、事実と認識の確認	<p>平成27年第4回一般質問で取り上げた「一者特命随意契約と4tトラック」の問題は、公共調達がどうあるべきかを考える良い材料になった。既に終了した事業だからこそ、詳細な検証によって問題となった仕組みを解明することができ、適正な公共調達のための新たな仕組み作りに役立てられる。</p> <p>そのためには、まず関係者全員が共通認識を持つことが重要である。前回答弁で曖昧だった以下の項目について、事実の確認と町長の認識を伺いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 随意契約と一者特命随意契約の違い ・ 町所有車両と業者所有車両の、経費負担と事故時の責任所在 ・ 4tトラック購入方法（単年度委託契約において、財政支出平準化を目的にした業者購入車両への経費補填が可能なのか） ・ 燃料費の見積方法、および、精算行為を行わなかったことの正当性 ・ 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を随意契約の根拠としたが、平成27年に入札に移行したこととの整合性 ・ 行政手続きとしての書類の整備 ・ 決裁印の意味と責任 	60分	町長
2)	適正な公共調達および町民からの信頼回復にむけた、新たな仕組みについて		<p>行政運営において法令遵守は当然であるが、法令の解釈や運用の違いによって問題が起きることはある。それを防ぐために、各自治体は常に点検と検証を行い、また、新たな仕組みを作って未然防止に努めている。こうした日々の努力が町民の信頼につながり、行政運営を円滑に進めると考える。</p> <p>今回の問題をふまえ、町は適正な公共調達と町民の信頼回復に向けて、どのような方策をとるのか、伺いたい。</p>	30分	町長

<p>2 人口の男女比を視点にした施策の展開について</p>	<p>月形町の（住民基本台帳）人口が減少している中で、特に女性の減少が著しい。現在の人口は男性＞女性であり、一般的な構成比と逆転している上、この傾向は加速している。</p> <p>このことを人口ビジョン策定時の意見として町に伝えたが、「女性に特化した施策展開は考えていない。」との回答であった。</p> <p>人口減少対策は地方創生の名のもと、ほぼ全ての自治体が今まさに一斉に取り組んでいて、通り一遍の対策では差別化ができない。また、現実に行き起きている女性人口の減少を的確に捉えなければ、町民の暮らしに有用な施策は打てない。</p> <p>そこで、人口の男女比を視点にした調査と分析と、それを元にした施策の展開が必要と考えるが、町長の認識を伺いたい。</p>	<p>40分</p>	<p>町長</p>
<p>3 子ども達の体力および運動能力の向上について</p>	<p>「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が公表された。北海道はこれまで同様、ほぼ全国最下位であった。</p> <p>月形町の子どもの状態は母数が少ないこともあって年次や学年による変動が大きいですが、平成26年度では全道に比べて同等か低い項目が多く、平成27年度では改善傾向であったものの課題は残っている。</p> <p>こうした状況の中、平成28年度の教育行政執行方針では、子ども達の体力向上策を社会教育でのみ取り上げている。全ての子ども達を対象に対策を打つには学校教育でも取り上げる必要があるのではないか。また、体力向上には計画的で長期的な取り組みが必要ではないのか。</p> <p>これら、月形町の子どもの体力・運動能力への認識と具体的な向上策について、平成28年度の施策とあわせて伺いたい。</p>	<p>30分</p>	<p>教育長</p>